

令和 7 年 10 月 21 日

於 秋葉台小図書室

司会 校長 記録 蛭田

出席者: 会長 山下 校長 内藤 指導主事 中西

委員: 大井 小山 鈴木 本吉 柳田

第6回 学校運営協議会 議事録

1. 校長より

インフルエンザが急に流行し始め、学級閉鎖が出始めた。のびのび、6年3組が閉鎖中。

着任して半年が経過した。ご協力ありがとうございます。

〈新しい取り組み〉

- ・教科担任制。体育館開放。ふれあい給食。等
- ・子どもたちがやりたいことを伸ばす。担任は専門性を生かす。
- ・トラブルが増えた面もある。

子ども家庭センター、児童相談所、警察署などと連携した件もある。

外部の力を借りる。その子にあった方法を考えていく。

- ・いじめの認知が増えた。子ども同士、校外、家庭での問題もある。

学校だけでなんとかできないことはすぐに専門の関係機関の力を借りる。卒業してからも地域で暮らす子どもたち、地域で子どもを育てる。

- ・プラス面。サマースクール。成長のきっかけになった。とても喜んでいた。学びたいという気持ちが高まった。

移動教室 子どもの成長を感じられた。主体性をもって動いていた。

- ・やりたいことはやってみよう という声掛けを子どもだけでなく、職員にもしている。

(今後の取り組み) のびのび ボッチャ大会。

6年生 別所中学校へ合唱コンクールリハーサルを聴きに行く。

3、4年生 ビートレインズ バasketボール授業。1、2年生 チアダンス

- ・学習発表会 自分たちがつくる取り組み。
- ・キャリア教育にも力を入れていく。ご紹介、ご協力をよろしくお願いします。

2. 学習発表会について(委員長)

11月学習発表会 昨年度は展示、今年度は舞台発表。

これまでは、コロナの関係で人数の制限があったが、今年度から人数制限なしで観覧できるようにした。不審者対策のため、プログラムの色わけをして持参してもらったり、名札を付けてもらったりして対応する。秋葉会の方にも協力していただく。

(会長) 3年生 蚕、5年生 田んぼ・・・地域でも関わっていることを取り上げてもらえることは、嬉しい。

3. 学運協委員活動報告

(秋葉会より) ピーポくんの家の登録が2件増えた。

4. 中西指導主事より

- ・地域の子どもは地域で育てる。
- ・地域の文化財を子どもたちにどんどん伝える
- ・八王子市はキャリア教育について力を入れている。・・・地域の魅力を知る。地域をよりよくする。地域の中で生きていく。
- ・今年度、いじめの認知件数が激増している件について。アンテナを高くしているから。被害に寄り添っているからこそ。

5. 意見交換、質疑

- ・学運協として教職員の人事に関する意見書について審議した
- ・言葉についての指導もしていくべきだと感じている。
- ・「死ね」「殺す」などの言葉を気軽に使う風潮、その背景を見ていく必要もある。
- ・学校、家庭以外の大人とつながることも大切。卒業後の繋がりも見据えて。
- ・次年度学級減の見込み 18→15学級 学級3減だが教員は4減になる見込み